



みなみいず 町議会だより

No. 97号
2024年
令和6年.5.1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaj@town.minamiizu.shizuoka.jp



令和6年度 南伊豆東小学校入学式

3月南伊豆町議会定例会を2月27日～3月21日の会期で開催しました。

主な内容

- 令和6年度一般会計・特別会計・水道事業会計 2
- 令和6年3月議会定例会採決一覧表 3～4
- 審議中にあった質疑又は意見要望事項 5～12
- 一般質問 13～19
- 未来を担う子ども達、議会一口メモ、くろ潮 20

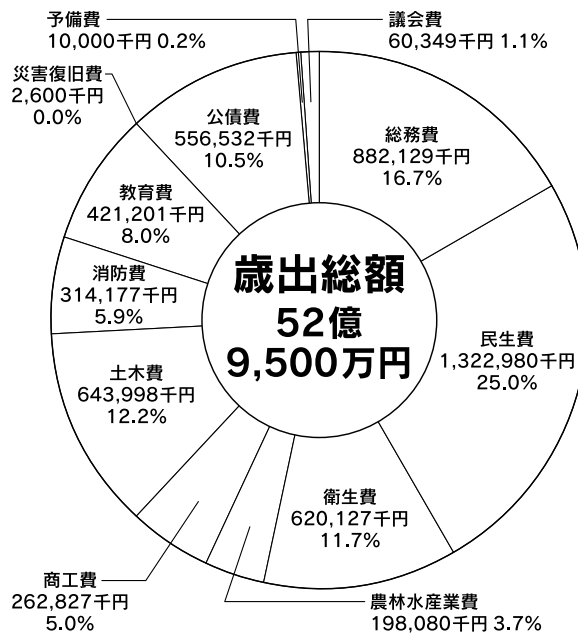
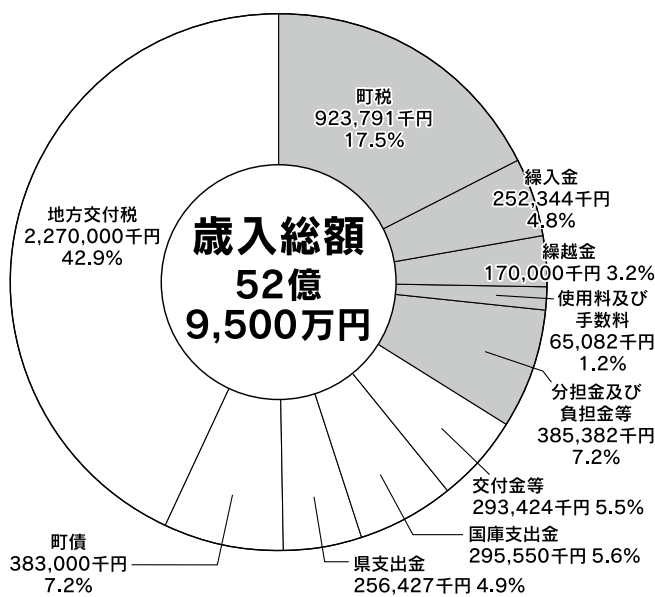
令和6年度

一般会計・特別会計・企業会計予算成立

総額93億1,651万1千円

■ 一般会計……………52億9,500万円

依存財源比…66.1% 自主財源比…33.9%



※分担金及び負担金等には、諸収入、寄附金、財産収入が含まれています。

■ 特別会計……………27億3,546万円

■ 水道事業会計 ……7億1,521万円

■ 公共下水道事業会計 ……4億2,160万円

■ 漁業集落排水事業会計 ……1億4,924万1千円

一般会計・特別会計・企業会計補正予算可決

※3月補正予算は年度末で各種事業等の確定によるものです。

● 総額

■ 一般会計……………△427万9千円

- 特別会計……………
 - 国民健康保険 ……△7,118万6千円
 - 介護保険 ……9,612万2千円
 - 後期高齢者医療 ……28万9千円
 - 指導主事共同設置事業 ……208万9千円

- 企業会計……………
 - 公共下水道事業 ……△303万3千円
 - 漁業集落排水事業 ……△374万円
 - 水道事業 ……△599万5千円

令和6年3月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	安藤 広和	岩田 稔	大年 美文	黒田 利貴 男	渡邊 哲	宮田 和彦	比野 下文 男	稲葉 勝男	清水 清一	齋藤 要
1	諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2	議第1号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3	議第2号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4	議第3号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
5	議第4号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
6	議第5号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
7	議第6号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
8	議第7号	南伊豆町南崎財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9	議第8号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
10	議第9号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
11	議第10号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
12	議第11号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
13	議第12号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
14	議第13号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
15	議第14号	南伊豆町三坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
16	議第15号	南伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
17	議第16号	南伊豆町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
18	議第17号	南伊豆町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
19	議第18号	南伊豆町手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
20	議第19号	南伊豆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
21	議第20号	南伊豆町介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
22	議第21号	南伊豆町漁港管理条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
23	議第22号	南伊豆町漁業集落環境整備事業、漁港環境整備事業及び漁村整備事業の費用の分担に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
24	議第23号	石廊崎オーシャンパークの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
25	議第24号	南伊豆町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
26	議第25号	南伊豆町犯罪被害者等支援条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
27	議第26号	工事請負契約の締結について（令和5年度町道落居線道路改良工事（第2工区））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
28	議第27号	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
29	議第28号	財産の無償譲渡について可決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

令和6年3月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	安藤 広和	岩田 稔	大年 美文	黒田 利貴男	渡邊 哲	宮田 和彦	比野下 文男	稲葉 勝男	清水 清一	齋藤 要
30	議第29号	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
31	議第30号	南伊豆町指定金融機関の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
32	議第31号	令和5年度南伊豆町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
33	議第32号	令和5年度南伊豆町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
34	議第33号	令和5年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
35	議第34号	令和5年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
36	議第35号	令和5年度東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
37	議第36号	令和5年度南伊豆町公共下水道事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
38	議第37号	令和5年度南伊豆町漁業集落排水事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
39	議第38号	令和5年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
40	議第39号	令和6年度南伊豆町一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
41	議第40号	令和6年度南伊豆町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
42	議第41号	令和6年度南伊豆町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
43	議第42号	令和6年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
44	議第43号	令和6年度南伊豆町南上財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	議第44号	令和6年度南伊豆町南崎財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	議第45号	令和6年度南伊豆町三坂財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	議第46号	令和6年度南伊豆町土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	議第47号	令和6年度東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	議第48号	令和6年度南伊豆町公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	議第49号	令和6年度南伊豆町漁業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	議第50号	令和6年度南伊豆町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	議第51号	南伊豆町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	議第52号	令和5年度南伊豆町一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	発議第1号	南伊豆町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	発議第2号	台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）への加入に向けた支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	発議第3号	緊急防災・減災事業債の制度延長及び制度拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 長田美喜彦は採決に加わっておりません。

※齋藤要議員は諮第1号から議第38号採決時欠席

審議中にあった質疑又は意見要望事項

○ 予算決算 常任委員会

一般会計

1 款 議会費

質疑、意見要望はなかった。

2 款 総務費及び関連歳入 について

問 路線バス維持事業では昨年より900万円近く削減されているが理由は。

答 昨年、一昨年とバス車両等の修繕費が含まれ経費が上昇した。令和6年度はないので3年前と同じ水準になる。

問 公共交通空白地域の定義は。

答 路線バス及び自主運行バスが運行していない地域に加え、なのはな号を運行している一線、青野以外の地区が公共交通空白地域になる。

問 町内を見ると路線バスが運行されていない所があるが検討はしているか。

答 現在、法的規制があり新しい交通手段を措置できない状況にあるが、ライドシェア等の規制緩和が図られる様になれば、本町に合った移動手段の確保に向け調査研究をしていく。

問 地域活性化企業人推進事業の実績、派遣事業の内容、CIO補佐官の内容と人選、進出企業定着・地域活性化支援

補助金の減額について。

答 地域活性化企業人の実績について町の出向は3名でギガスクール構想、シティプロモーション、SNSマーケティングの活用として各1名。来年度も引き続き3名を予定している。CIO補佐官については南伊豆町DX推進本部の本部長（CIO）を専門的知見から補佐する外部のデジタル高度専門人材を委嘱する。人選については地域活性化起業人としてギガスクール構想等の実績から。進出企業補助金についてはデジタル田園都市国家構想交付金事業に採択され、町の補助金を使ったものになる。3社が対象となっていたが、来年度については0となっている。

問 地域おこし協力隊は何人いるのか。

答 現在5名いる。観光協会に1名、ふるさと寄付の関係で2名、伊浜地区で農業振興1名、湊地区で移住促進、関係人口拡大1名である。

問 お試し採用、短期活動体験等があるが、どのような想定をしているか。

答 お試しの地域おこし協力隊は2、3日で、主に町を知ってもらうもの。地域おこしのインターンについては2週間で地域おこし協力隊の仕事を見て知ってもらうものになる。

問 地域おこし協力隊の農業振興にある長命草の栽培と活

用の中身は。

答 薬効があるとされている長命草を栽培して、販売を含めて活用して地域の農業振興に繋げていきたいと考えている。

問 長命草をネットで調べると主に沖縄県で栽培をして商品化もしている。南伊豆町でも栽培できるか。

答 伊豆地域でも自生し、賀茂の七草にも指定されている。

問 地域おこし協力隊は現在5名おり、今後7名となる予定だが採用のめどはついてるか。また、7名を超えた隊員を採用する考えはあるか。

答 7名の内、隊員第1については令和6年度中に任期を迎えるので年度の途中から6名となる。隊員6・7については募集を終了した。複数の応募があり選考する。

問 地方創生事業委託料の内容は。

答 産業振興計画策定業務支援委託料は産業振興計画の見直し等の支援。サテライトオフィス誘致事業委託料は企業の募集と誘致。南伊豆パスポート事業管理委託料は南伊豆パスポート冊子の作成、販売。ふるさとワーキングホリデー事業委託料は2週間くらいの休みを利用して町で働きながら観光を楽しんで頂く事業で、そちらを受け入れる事業者に対してのもの。地域産業振興事業委託料はふるさと納税に対する商品開発事業。

移住ポータルサイト改修委託料については移住ポータルサイトの大幅改修となっている。

意見 色々な人材に頼らないと事業が回らないことがわかった。

問 昨年より農林水産業費国庫補助金と土木費国庫補助金が合わせて約1億円減額しているが理由は何か。また、過疎債の増額の理由は。

答 国庫補助金の減額は町道落居線の改良工事に伴う減額。前年度の実績がないと補助金が付かないため、少ない計上をしている。その分、過疎債が増えた。今後も国に対して追加申請なり働きかけをしていく。

意見 財源的に厳しい町なので、頂けるものは頂き、事業を推進するように。

問 自治体DXの推進で住民の利便性向上とあるが、具体的にどのようなことがメインになるか。

答 デジタル田園都市国家構想交付金にデジタル技術による住民に寄り添った行政サービスの推進事業、子育て環境向上事業を申請している。具体的には、ラインを活用して住民と役場の相互のコミュニケーションをより向上すること。窓口対応について、行かない、書かない、待たないという窓口を推進して利便性の向上を図る。例えば、オンライン申請、決済、施設予約、スマートロックといった、役場に来てカギを借りなくてもその場所で開錠ができるようなことを想定している。

問 デジタル弱者への対応は。

答 デジタルを活用することで利便性がある場合は活用しないことも考え事業に取り組んで行く。あわせてデジタル活用についての説明会あるいは相談会を行いながら活用できる体制を作っていく。要望 デジタル弱者にも平等に対応して事業を進めるように。

問 マイナンバーカードは様々なトラブルがあるが脆弱性は大丈夫か。また、国からの何らかの方向性はきているか。

答 トラブルの事例は受けている。マイナ保険証等にも活用されるため円滑な移行推進とマイナンバーカードの普及促進を図っていく。

問 マイナンバーカードの更なる普及についての考えは。

答 介護施設等や各地区のコミュニティセンター等へ出向いて申請を促していく。

3款 民生費及び関連歳入について

問 後期高齢者医療費が昨年より約1,400万円多い理由は。

答 被保険者数が増加しているため。

問 1,400万円の増加は妥当の数字か。

答 団塊の世代が後期高齢者に移って爆発的に被保険者数が増えている。また、診療報酬についても本体部分が上がる事になっているため妥当と考える。

問 児童福祉費寄付金1,000万円の内容は。

答 町内のメガソーラー事業者から子育て支援として1,000万円の寄付の申し出があり、子ども園の屋外遊具として滑り台、うんてい、登り棒、屋内遊具として体幹を鍛えるブロックや大型の絵本等を導入する。

問 社会福祉総務費の中で低所得世帯等支援臨時給付金が最も多いがその他の柱は。

答 新婚生活支援補助金、介護予防保健事業である。

問 扶助費の大きなものは。

答 障害者の自立支援給付金が年々伸びている。昨年と比べ約1,000万円、国の給付事業、物価高騰のため全体的に少しずつ伸びているのが要因である。

問 給付金が増えているのは障害者が増えているのか、その状態が悪化しているのか。

答 状態の悪化と言うよりは人数の増加が要因と考える。

問 成年後見人実施機関設置とはどのような機関か。

答 社会福祉協議会に委託して設置している。賀茂地域の社会福祉協議会では市民後見人養成講座を共同開催し、成年後見人の人材育成をしている。

問 南伊豆認定こども園屋根改修工事についての内容は。

答 園舎南側の保育室が数年前より雨漏りし、令和4年度に部分的に改修したが、他の

保育室も雨漏りがあり全面的な改修をする。

問 子ども園が出来てから12～3年。雨漏りする耐用年数ではない。工事に欠陥があったのではないか。

答 工事の欠陥ではなく屋根の上に設置したソーラー発電の設置素材と屋根の素材の相性が悪く腐食が進んだことが原因と考えている。

4款 衛生費及びその関連歳入について

問 焼却灰、不燃残渣等の資源化の内容は。

答 民間の処理業者に委託をして主にアスファルトの骨材、溶融処理によりスラブを製造して資源化を計画している。

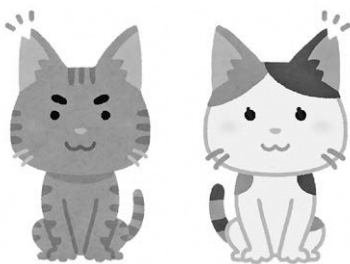
問 下田市清掃センターの土壌分析はしたか。

答 組合からの報告では生活環境影響調査を行っているがその中に、土壌調査は入っていない。

要望 下田市清掃センターの土壌調査を行なうように。

問 猫の避妊去勢手術補助金が終了した場合、補正予算で対応する考えは。

答 要綱の見直しを行い野良猫に特化したので、補助金額は足りると考えているが、活動状況、必要性等を精査しながら検討する。



5款 農林水産業費及びその関連歳入について

問 林道八木山線の進捗状況は。

答 南伊豆町側は終了しているが、松崎町側は工事中である。予算計上の理由は、壊れた所の補修が主な目的である。賀茂農林事務所から令和10年以降に全線開通の予定と聞いている。

問 海岸保全施設整備事業の廃目整理についての理由は。

答 令和6年度は事業がないため、予算書の書き方で、この様な表現になっている。

問 今後、青市、手石地区の水田を埋め立てる予定だが、排水対策はどのように行われるのか。排水対策についての考えは。

答 青市は、地元から水が溜まらないよう要望もあることから、鯉名川まで水路を接続する工事を行う。手石も、青野川までしっかり水路整備を行う予定である。

問 水土保全機能森林整備の効果等は。

答 山の機能回復を図るため、広葉樹の更新をし、豊かな山にしていくことが目的。効果は直ぐに望めるものではなく、10年後位の検証になる。

問 どのような場所で行うのか。

答 水源涵養機能を持つ山で実施していく。

問 有害鳥獣の捕獲が減少している要因として豚熱ウイルスによる個体数の減少が原因

にある。家畜伝染予防法の中で狩猟者に対してPCR検査の実施、捕獲動物の消毒、さらに1m以上の穴を掘って埋めなければならない。特に高齢者に負担が大きいため狩猟者が減少している。処分方法について県から指導等はあったか。

答 県からマニュアルが配布された。

要望 今後、鳥獣被害防止総合対策交付金をどこにどの様に活用していくかしっかり検討すること。

問 海水温の上昇によりアワビの餌となるカジメが減少しているが稚貝、稚魚の放流は。また、カジメに代わる調査は。

答 漁協と協議をし、稚貝、稚魚の放流は比較的海草が残っている石廊崎から湊にかけて行う。水産試験場によると、赤アワビはカジメでなければならない。黒アワビについては雑食性で何とかなる。黒潮大蛇行による海水の上昇を受けているのは南伊豆町だけではないため、どこの漁協も黒アワビの稚貝が欲しいと思うので、安定した量が入るかどうかわからない。カジメに代わるものとして、県試験場では東伊豆、西伊豆でアントクメ、シワメと呼ばれている海草の試験栽培を始めた。究極には陸上養殖になるのではないか。

問 環境保全型農業直接支払交付金を活用して5年目になるが効果は。

答 環境レベルの話で、目に見えにくい分野であるのは事実である。

問 堆肥の活用では何トンの堆肥を入れるのか。

答 堆肥の量ではなく、極力化学肥料を抑え持続可能な農業を目指す趣旨である。

意見 環境保全農業とは趣味の世界の農業と考える。

問 環境保全農業を行っている個人または団体は。

答 南伊豆有機農業推進協議会で個人8名と2法人である。

問 法人名は。

答 マザーアースクラブとアグリビジネスリーディングである。

問 吉祥町有農地管理業務は、どのような個人、団体に委託しているのか。

答 伊豆南地域農業推進協議会である。

問 環境保全農業を行っている団体のメンバーの方々が管理していると理解して良いか。

答 代表者は重複している。

問 食害生物の魚類を捕獲する除去活動はどのようにして行うのか。

答 町から漁協へブダイの駆除金を決定し、下流で187kg、大瀬で79kgを捕獲している。

要望 種の絶滅にならないように行うこと。

問 手石港に沈船がありますが除去はできないか。県へアクションは。

答 町での除去は難しい。管理者である県へは伝えてあるが対処されていない状況である。

要望 色々な方々が清掃ボランティア活動をして海をきれいにしている所なので沈船を迅速に除去できるように努めること。



6款 商工費及び関連歳入について

問 弓ヶ浜温泉組合の温泉利用者が減少している。大口の利用者が撤退するとも聞いているので不測の事態になる前に温泉組合と協議を行っては。

答 絶えず情報共有している。口数が減少すれば単価を上げる等の経営努力も必要。今後も組合と調整をしながら持続可能な対応していく。

要望 湊地区の観光は町の中核的な役割を担っているので最善の努力を望む。

問 弓ヶ浜クラブが撤退するのかどうか、杉並区と事前の話し合いは。

答 見直しの連絡はきている。売却の結論は出ていないと聞いている。民間での活用があれば良いと思っているので、話ができれば杉並区に紹介をする。

要望 温泉利用者の実態を把握して応援していくように。

問 全国版地図の中に町の遊歩道が載っていたが管理はどのようにになっているのか。

答 縮尺が大きく詳細の部分が分からない。南伊豆歩道運営協議会の管理かどうか疑問

もあるので現地確認をした上で検討する。

問 日野の菜の花畑にソルゴの迷路を作る考えは。

答 ソルゴを植える前に馬糞を畑に撒き、堆肥にする計画をしている。匂い等が気になるので打ち合わせをした中で検討していく。

問 堆肥化されていない馬糞を入れるのか。

答 確認して検討する。

問 日野のバス停に違法駐車が行っているが実行委員会との協議や改善する考えは。

答 今のところ対策はしていない。実行委員会の反省会に提案し、対応していく。

問 インバウンド振興の具体的な内容は。

答 台湾からの視察に対応するためマイクロバスの借り上げ等2台分と台湾との姉妹都市の提携のための視察費用となる。

問 インバウンド事業負担金の支払先は。

答 富士箱根伊豆国際観光テーマ地区静岡県協議会である。**要望** インバウンド事業の発展のため、予算の増額を要望する。

問 町内バスツアーの助成、浜名湖花博2024関連事業の内容は。

答 浜名湖花博は、観光協会主催で大型バス1台を借り切り日帰りの視察旅行を計画している。町内バスツアーの助成は、来町したバス会社に補

助する制度である。

問 花博にバスツアーを企画して助成金を出すのが宣伝事業になるのか。

答 観光協会独自の自立をフォローしていきたいと考えている。

問 誘客促進事業は廃止なのか、他の事業に組み込まれたのか。

答 誘客促進事業については伊勢海老まつりと桜祭りの期間中、5,000円宿泊クーポンと3,000円の体験クーポンを実施してきた。令和2～4年までは国の補助金が付いていたが令和5年度は一般財源を使い実施した。令和6年度は財政的な観点から廃止した。伊勢海老づくしの特別な日についても伊勢海老の不漁のため、実施しない。

問 代替え案は観光協会等と協議しているか。

答 令和6年度の新規事業としてフォトコンテストを計画している。南伊豆みちくさほちほちマラソン42.195kmも支援をする。

問 伊豆'Sライフスタイル創造エリア協議会の組織と事業内容は。

答 賀茂地域1市5町でワーケーション企業を推進する事とした。県の補助金を活用してワーケーション施設の整備等を行う。

問 自然体験、農業、海遊び、植林、ハイキング等の委託先は。

答 決まっていない。

問 他の市町の状況は。

答 東伊豆町はクロスカントリー施設倉庫を改修してワーケーションを行い、西伊豆町はキャンプ場にコンテナハウスを設置してワーケーション施設に活用すると聞いている。

問 地域経済活性化の観点からプレミアム商品券を小規模店舗で利用する対策は。

答 地域小規模店専用券7割、全店共通券3割としている。

問 石廊崎オーシャンパーク駐車場使用料2,000万円の内訳は。

答 4月1日からの駐車料金は大型バス1台1,500円、普通車1台500円、オートバイ1台200円となる。令和元年から令和4までの実績と普通車の値下げを見込み、大型バス480台、普通車36,000台、オートバイ6,400台を計上している。

問 青野川桜並木の桜の剪定等の管理費の計上の考えは。

答 予算計上していないが、静岡県さくらの会がさくら相談員の派遣事業を行っている。事業を活用し保全に努めていきたいと考えている。実行委員会にも提案したい。



問 土・日曜日の役場駐車場を有料にしてはどうか。

答 町民とのトラブルを避けるため徴収しなくなったと聞いている。今後、実行委員会と協議する。

問 土日祝日は、観光客で溢れ返っているので、駐車場の交通整理をするスタッフや案内をする人も必要。人件費を賄うためにも駐車料金の徴収が必要ではないか。

答 駐車場協力金の徴収は妥当と考えている。また、トイレも開放し、3階へ行く非常階段も開けている。担当課を含めて実行委員会と検討する。

問 過去にあった町民とのトラブルとは。

答 役場に用事があり来庁した町民から協力金を徴収しようとしたと聞いている。

問 道の駅で使用するために交付した「駐車許可証」を役場駐車場でも使えるようにしては。

答 実行委員会と検討する。

問 みなみの桜と菜の花祭り実行委員会の問題と思うが。

答 実行委員会に町も入っている。意見を伝える。

問 交流自治体物産展への出展として杉並区、南相馬市があるが塩尻市への物産展出展の考えは。

答 観光協会と協議し検討する。

問 今後、ふるさと寄付金が増えるか。南伊豆町と西伊豆町と返礼品に相違はないのに、

ふるさと納税寄付金額の差が大きい理由は。

答 町の貴重な財源であり、今後、より一層寄付金が増える様に手を尽くしている。西伊豆町は、当町より着手したのが早く、多くのリピーター、顧客がすでに付いている。町としても色々な返礼品の開発をし、取り扱い事業等を開拓して増やしていきたい。



7 款 土木費及びその関連歳入について

問 道路新設改良工事の内容は。

答 伊浜線は伊浜バス停から300m一町田側法面の落石防護柵設置と併せて水路を改修し、継続工事の波勝側のガードレールを改良する。一町田線は、平戸地区の舗装改良工事。子浦落居A線は旧三浜小学校付近の舗装改良工事。落居線はバイパスの道路改良。子浦東西A線は子浦郵便局前の水路改修に併せて舗装を改良する。湊地内2号線はみなと湯から弓ヶ浜に向う町道の側溝蓋の改修。立岩吉田線は頂上付近から吉田側のガードレール改良工事となる。

問 橋梁の定期点検を行っているが進捗は。

答 5年に1度のサイクルで239橋を点検している。令和4年度に2巡目の点検が終了しているが、平準化して点

検しているので毎年点検がある。

問 住宅リフォーム振興事業に住宅の安全性上又は防災で必要な工事とあるが、感震ブレーカー設置の補助金申請はできるか。

答 できない。

要望 二つの課で一つのことが重なる場合があるが、住宅リフォーム振興事業の申請をする人に感震ブレーカーの設置の周知をした方が効果的ではないか。今後、庁舎内で協議すること。

問 空き家等実態調査は町内の業者で対応できる内容か。

答 できない。

問 家屋調査士等の資格が必要か。

答 町内に存在する空き家等について台帳及び地図データを電子処理するため、町内の家屋調査士等では対応できない。

問 空き家を賃貸するための調査か。

答 空き家をピックアップするものだけでなく、利活用できるものを探る目的がある。持ち主までの追跡調査を行い連絡が取れるようにし、空き家の増加解消に繋げるデータ作りを行い管理していく。

問 空き家所有者の実態調査をすると言う事は所有者が分かってないと言う事か。もっと先のことを考えているのか。

答 平成29年に空き家調査を行い184件の空き屋の確認はできているが、その後、

増加していると思われる。令和7年度末までに「空き家等対策計画」を作成し、協議会を立ち上げ特定空き家等を指定することにより固定資産税を上げることもできるため、空き家の抑制にも繋がる。同時に「空き家等活用推進区域」を指定した場合、建築基準法が緩和され建て替えが可能となるケースもあるので、今後、空き家の利活用促進も考えています。

問 高齢者が増え、町で行っている河川のクリーン作戦が困難になってきたが、河川管理者としてどのように考えているか。

答 行政協力員会で河川の草刈りは無理をしない範囲でのお願いをしている。また2級河川の草刈りについては土木事務所と調整が出来ればと考えている。

要望 各地区でケガ人が出ている。緊急の課題として取り組むように。

問 上賀茂の中島橋、上小野の大谷戸橋が撤去とあるが住民は使用していないか。

答 まったく利用してない訳ではないが、説明会を開催し理解を得ている。

問 橋を撤去しても住民の方々から苦情は出ないということか。

答 そう考える。



8款 消防費及び関連歳入について

問 津波監視カメラを撤去する理由は。

答 東日本大震災を受け、手石河口・中木・子浦漁港に設置したがカメラが使用できなくなったため撤去する。

問 津波の監視や観光のための新たなカメラ設置の考えは。

答 今のところ津波監視カメラは運用していないが、弓ヶ浜の自動販売機にカメラを取り付けホームページでも画像が確認できる様になっている。

問 令和5年度の老朽危険家屋等解体の実績は。

答 今年度の実績は0件。要綱の変更を行い補助額と補助率の上限額を上げた中で、入間区が検討していると伺っている。

問 老朽危険家屋解体を速やかに対応するように。

答 予算承認頂ければ、この補助事業を4月の広報でお知らせする。

問 発災後50年経つが、今後の慰霊祭の執り行い方と中木記念公園の管理は区と協議しているか。

答 中木区慰霊祭執行については区長等と協議を数回重ねている。今後、中木区では令和6年度をもって慰霊祭を終了すると聞いている。管理は地域整備課となる。

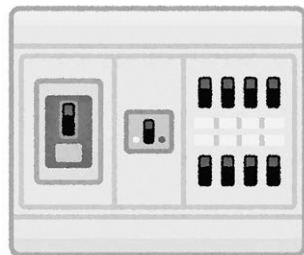
問 謝礼の意味は。

答 今迄の主催は中木区だったが、50周年の節目で町と区と合同で行い僧侶の人数を

増やす。

問 夜間の避難や人工呼吸器等使用中の地震で感振ブレーカーが作動して電源が落ちた時の検討はしたか。

答 感振ブレーカーは設定した震度以上を感じた場合に強制的にブレーカーが落ちるため、暗い中での避難になる。その対策として枕元に懐中電灯等を用意してもらいたい。また、情報の収集についてはスマートフォンや乾電池式ラジオでの対応をお願いする。**要望** 感振ブレーカー設置補助金申請時にデメリットの周知をして注意喚起を図ること。



問 スポットクーラーの1台の価格は。

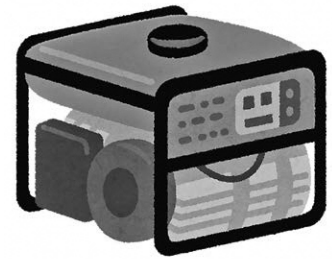
答 消費税込みで1台66,000円。12台分計上した。

問 その程度の価格のクーラーの能力では避難所は冷やしきれない。また、排気や水が出るが対策は。

答 避難所全体の冷房が理想的だが財政的に厳しいため、スポットクーラーを選択した。夏場の蒸し暑いときに少しでも快適に過ごせるようにと考えている。台数が不足ならば計画的に増やしていく。また、クーラー内に水受けのタンクがあるので満水になったら外して捨てることができる。

問 停電時の電源は。

答 今年度の予算で発電機を10台購入した。また、既存の発電機もあるので電源は確保できるものとする。



9款 教育費及び関連歳入について

問 各小学校の備品費が去年より3倍になっているが内容は。

答 南中小学校で洗濯機、南上小学校でワイヤレスアンプのチューナーユニット、東小学校でプロジェクターと必要な備品となっている。

問 通学費補助のデジタル申請は行っているか。

答 行っていない。

要望 河津町はデジタル申請で受付をしている。多くの親は日中、働いているため、役場に申請に来ることができない。デジタル申請の検討をするように。

問 中学校部活動等生徒派遣費補助事業の予算が前年度より削減された理由は。

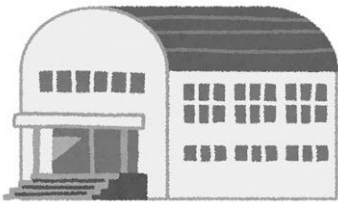
答 昨年度の実績を元に計算した。町のマイクロバスを活用する等、負担を減らす協力により減額した。

問 武道館改修につき、合宿予定をしている団体への対応は。

答 旧三浜小学校体育館を武道館と同じ様に活用していく。

問 文化財保護の申請した場合、文化庁から職員が派遣され、その費用は町の負担となるが予算化しては。

答 予算内で対応していく。



10款 災害復旧費及びその関連歳入について

問 先日、伊豆半島の首長がウェブ会議をしたがその内容は。

答 能登半島地震の災害を受けて伊豆半島の市町が何か協力できることがあるのかと言う中で、道路の重要性、ヘリポート等の活用、津波等で海岸部が被災した時には海に面していない伊豆の国市、函南町に於いて仮説住宅等の提案があった。瓦礫については広域で行う、被災したところを皆で助け合う等。今後、担当者を含め、災害対応等、様々なことを協議する場を設けようということになった。

要望 道路啓開については非常に重要な課題としますので宜しくお願い致します。



11款 公債費及び関連歳入について

質疑、意見要望はなかった。

12款 予備費及び関連歳入について

質疑、意見要望はなかった。

特別会計

議第40号

令和6年度 南伊豆町国民健康保険特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第41号

令和6年度 南伊豆町介護保険特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第42号

令和6年度 南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第43号

令和6年度 南伊豆町南上財産区特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第44号

令和6年度 南伊豆町南崎財産区特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第45号

令和6年度 南伊豆町三坂財産区特別会計予算

問 差田ゴルフ場の方向性はどの様になっているか。

答 ゴルフ場運営会社が、どの様にしていくか探っている。逐一報告等は入ってくる。

問 町として他へのアプローチ等は行っているか。

答 ゴルフ場サイドで行っているので町として提案等はしていない。色々な事業者から跡地の活用について打診があるので情報提供しているが、町からアプローチすることはない。

議第46号

令和6年度 南伊豆町土地取得特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第47号

令和6年度 東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

企業会計

議第48号

令和6年度 南伊豆町公共下水道事業会計予算

問 下水道加入率と下水道加入促進状況は

答 2月末現在の加入率は57.9%、加入促進については広報紙等で行っている。

要望 担当課で勧誘促進を行うてはどうか。

議第49号

令和6年度 南伊豆町漁業集落排水事業会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第50号

令和6年度 南伊豆町水道事業会計予算

問 簡易水道が加わった状況は。

答 令和5年度に9地区の簡易水道が統合した。当初、3,000万近く収入の増を見込んだ。9地区の簡易水道を管理会社に委託しており、維持費が増加しているため今迄より管理費が増えている。

詳細は9月の決算委員会で報告できると考える。

●一般質問 町長に聞きました



宮田和彦 議員

安心・安全なまちづくりについて

質問 能登半島地震では、住宅の耐震化の遅れが被害拡大を招き、多くの人々が家屋の下敷きになり命を落としました。無料耐震化診断、木造住宅耐震補助制度の状況と周知は。

町長 耐震化未実施世帯の多くが高齢者世帯であることや、耐震改修に相当の費用を要することから、費用負担の軽減が課題です。今後も町民に対する耐震診断及び耐震改修の必要性や重要性等について周知・啓発に努めると共に、当該事業に係る補助制度や国からの支援制度の活用をもって、積極的な住宅耐震化促進に取り組めます。

質問 各地区の食料、飲料水等の備蓄は。

町長 各地区自主防災会においては、自主防災事業補助金などを活用し、アルファ化米やパンなどの非常食、ペットボトル入り飲料水などを中心とした備蓄も進んでいます。衛生用品、簡易トイレ、

段ボールベッドなどの生活関連用品は十分とは言えません。大規模災害が発生した場合は集落の孤立も想定されることから、町民の皆様には最低でも1週間程度の備蓄を強く推奨しています。

質問 町の浄水場、送水管等の耐震化は。

町長 石井浄水場については、耐震性がありません。

意見 浄水場・水道管等の耐震性を高め大地震に対する備えを強く要望します。

質問 能登半島地震を教訓に、町の防災・減災対策の見直しの考えは。

町長 色々な被災する状況を想定し、万全な対策を取っていく事が重要と思います。

磯焼けと今後の取組について

質問 漁協でブダイの干物やくんせい薫製等を商品化していますが、一般から加工品や料理を募集して消費喚起を図っては。

町長 ブダイが商業ベース化されることが理想です。関係団体等とも連携しながら製品の最適化に取り組めます。

漁業従事者の後継者育成について

質問 漁業従事者が減少すれば主力産業の観光にも多大な影響が出てきますが漁業従事

者の後継者育成支援等は。

町長 地域資源の価値や魅力を生かし、雇用機会の確保と所得向上を図る「海業」の振興を推進しています。また、引き続き漁業関係者や諸団体との連携を図り、後継者対策となる新規就業者の受入れや人材育成の支援と共に、生産者を後押し、6次産業化支援補助金制度の財政的支援をもって水産業の振興に取り組みたいと考えています。

交通移動弱者について

質問 交通移動弱者に対する新たな展開は。

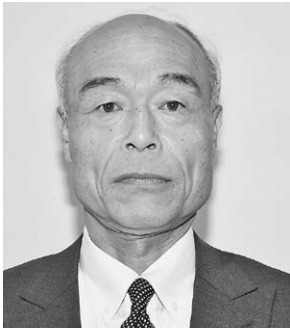
町長 規制緩和の動向に注視しつつ、既存の公共交通維持に加え、町に適した新しい移動手段の手法等についても調査・研究・検討を進めたいと考えています。

放置空き家について

質問 放置された空き家の現状と認識は。

町長 放置空き家は、倒壊の危険や防犯上の観点からも安全・安心への懸念材料であり、生活環境に加え、景観保全上の問題を生じさせているものと認識しています。対象物件の所有者・管理者に向けては、適正な管理を強く求めたいと考えています。

意見 一日も早く危険家屋を排除する最大限の努力を求めます。



大 年 美 文 議員

災害対応について

地震時の初動対応について

質問 当町の場合は、町内で震度4以上を感知すると同報を通じて周知するシステムが構築されていると思いますが間違いはないでしょうか。

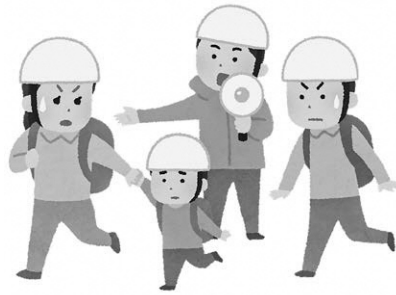
防災室長 J-アラートとして国民保護の観点のところで放送される形になっております。

地震時の避難訓練について

質問 1月1日発生の「能登半島地震」において津波による被害から難を逃れた方が東日本大震災をきっかけに毎年避難訓練を行っており住民は奇跡でなく訓練が生きたと振り返っているとのこと。高台の集会所に向かった近所同士で声をかけ合って足の悪い人は背負うなどして集会所に到達して津波を免れたということ。災害から生命を守る原点ではないかと感じましたし、お隣同士声を掛け合いますに、「近助」の力だったのではないのでしょうか。避難訓練についての考えを伺います。

町長 本町では総合防災訓練、

地域防災訓練、津波避難訓練を実施しております。各地区においては、それぞれ第一次避難地が指定されており訓練では地震発生のサイレンを合図として、安全な避難行動が行えるよう避難に要する時間や経路等の確認をお願いしているところであります。



TOUKAI-0の状況について

質問 このプロジェクトTOUKAI-0の状況ということで静岡県が2001年から実施しており、当町においては無料診断は6年で終了、耐震の補強制度についても令和7年度で終了するというような形でホームページの中でうたっておりますが、最近では壁を壊さずに部屋の中に一回り小さくても大丈夫な部屋を設置する工法もあるというのを聞きました。家全体の補強となるとなかなか高額になるということもあり、なかなか数が増えない中で家の一部屋だけ強化にするというような取組、こんな事例が県内にあるのか、こういうものをこれからプロジェクトの中に入れることができるのかお伺いします。

地域整備課長 地震による死亡原因は、家屋の倒壊により圧迫、窒息死等が過半数を占めておりますので、緊急地震

速報が発信され直ぐに安全な部屋に避難する、またそこに就寝すれば少なくとも生命が守られる可能性は高くなると思われま。住宅リフォームに合わせた耐震改修の実施を促進してまいりたいと考えます。

豪雨時、特に山間部における流木天然ダムの恐れへの対応について

質問 豪雨時の特に山間部における流木天然ダムの恐れ、これ平成3年に当町でも大雨が降り特に一條地区で大きなダメージがありました。その辺、これから豪雨災害の危険性が高くなる季節を迎えますが、山間部の調査、倒木等の調査は順次実施しているでしょうか、お聞かせください。

町長 荒廃山林等の整備や適正管理の取組は極めて有効な防災・減災対策でもあることから、引き続き林業事業者との連携をもって森林整備の強化・推進に取り組んでまいります。

※避難所運営について・孤立集落解消の手段について・町政コラムについて質問し回答があった。





岩田 稔 議員

共立港病院の跡地利用について

質問 解体後の跡地の利用について、管理者と町長の間で何か話し合いはあったのでしょうか？また他の首長とこの事案について意見交換があったらお聞かせ下さい。

町長 本町では当該地が津波浸水地域であり、さらに国立公園第2種特別地域であることから、利活用計画は検討しておらず運営会議に本町の意向は示しておりません。管理者を含めた構成市町の首長との意見交換は特に進んでおりませんが、今後運営会議において具体的な跡地利用の協議が成されると考えております。

質問 現在まだ方向性が決定されていないと受取りましたが、あと9ヶ月あつという間に時間が来ると思うんですがその辺りの見通しがありましたらお聞かせ下さい。

町長 中にはタダでもいいからというお話を載いている所もあります。場所的に大変重要な地域だと思っているの

で、何か地域経済の活性化に資するようなそういう事業に出来ればいいかなと考えております。

質問 先日一部事務組合の同僚議員から南伊豆町はどうするんだと。南伊豆町が何かやってくれるんだよね？と声を掛けられました。当然の事ながら南伊豆町の出方これからの動きは皆が注目している所であります。これからは町民からも意見を聞いて当町にとって有効な答えを導き出していだけるように、これからも町長に頑張っていただきたいと思ひます。

仮に組合側から安価で売却を提案された場合、当町はどのような対応をされるかお聞かせ下さい。

町長 本町においては今後学校統合や公益ごみ処理施設計画など大型案件も控えており、財政状況も極めて厳しいことから現時点で跡地利用が無い当該土地の購入などは慎重にならざるを得ないと考えております。安価で取得できた場合は当然ですけれども、我々公的な立場で何か事業をやるというよりも民間の力を借りるというのは凄く重要だと思いますので、じっくりというほど余裕は無いんですけど間違った方向に行かないようにしっかりと対応していきたいと考えております。

質問 お尻がもう9カ月ということは決まっている以上は、ある程度の数字をこちらから言っつてやれませんか。その辺のお考えはありましたらお聞

かせください。

町長 一部事務組合としても維持管理費が毎年かかってくるわけですし。やはり、計画があつての取得かと思ひます。今後は想定した中で安価で取得できた場合、何をやるのか検討します。

副町長 病院移転については岩田議員は地元ですのでご承知の通り、決して南伊豆町が望んで下田に送り出した訳ではなく、泣く泣く手を振って病院を下田に送り出したところがあります。町長も本当にあの跡地を地域の方々とうやうや上手い形で利活用するんだということは、僕ら職員も一生懸命考えています。ご心配なことは十分わかりますけれど、もう少しちょっと時間をいただければと思ひます。





黒田利貴男 議員

経済対策について

質問 コロナ禍の町内経済は、人の移動制限などにより主要産業である観光等の低迷などが要因となり落ち込みました。そんな中で、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したみなみいず応援プレミアム商品券事業は第6弾まで行われました。プレミアム付商品券事業は継続できないか。

町長 新年度予算編成においては、第7弾みなみいず応援プレミアム付商品券発行事業を実施すべく、国からの交付金に一般財源を加えた5,154万円をプレミアム付商品券事業費補助金として予算計上し、1世帯当たり上限3万円分購入可能とする9,600万円分の商品券を準備し、6月下旬から販売する予定であります。

質問 国の交付金である新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金はないわけですから、その予算措置の考えはあるか。

町長 国ではコロナ禍からの

完全脱却に向けた経済対策として、次年度においても活用可能な物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付を決定いたしました。

能登半島地震からみる当町の防災対策について

質問 災害関連死は避難所で発生します。当町職員の避難所の体制については。

町長 時系列的に要員不足が生じる可能性もあり、この場合、他の班からの充足や他自治体からの応援職員による支援により対応することになりますが、全体的には要員不足は否めません。

質問 避難所での高齢者の健康管理については。

町長 災害時健康支援マニュアルを整備しており、災害発生時にはこれらマニュアルに基づき健康支援活動を実施してまいります。

質問 各自主防災会の避難施設の状態と備蓄状況、通信手段と通信状況については。

町長 大規模災害が発生した場合には集落の孤立も想定されることなどから、町民の皆様には最低でも1週間程度の備蓄を強く推奨しているところであります。地区との通信手段としては、デジタル移動系防災行政無線を配備しており、静止衛星を通じて電話や

通信サービスが行えるインマルサット衛星携帯電話の導入についても調査研究を進めております。

質問 高齢者だけの世帯では建物の耐震化は必要ないと思っている方もいます。能登半島地震では、家屋倒壊が非常に多かったです。同じことが起こることが想定できます。災害時建物倒壊を防ぐための建物の耐震化率を高めることはできないか。

町長 本町においては、広報紙をもって木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対する助成制度を紹介するほか、県と連携し耐震診断の申込みが可能な往復はがきによるダイレクトメールなども実施し、今後も効果的な住宅耐震化の周知啓発に努めてまいります。

ERS導入の考えについて

質問 一般廃棄物燃料化実験の結果報告の新聞記事がありました。このときの町長のコメントには、いい成果が出たため、何らかの形で導入したいと思っているとありました。現在の町長の考えは。

町長 現状においてもERSの実証実験は継続しており、今後は1日分の可燃ごみの処理量全量実験、生成物の利用結果などを踏まえて、本町として導入のメリットを模索していきたいと考えております。



稲葉勝男 議員

地域防災応急対策及び災害予防について 公共土木施設の 災害応急対策について

質問 地震災害発生時には人命救助・救援物資搬入・救助隊等の応援などに重要な任を担う緊急輸送路の確保につき防災計画では、「町内建設事業者及び建設業協会等に協力を求める」としているが、発災を想定した重機械の確保などの訓練や協議を実施しておりますか。

町長 町民の救助活動及び災害復旧に資するため、建設業者と応急対策業務に関する協定を締結しており、今後支援が受けられる関係諸団体の増加にも取り組んで参ります。

地域整備課長 協定を結んでいるが被災状況による支援内容も異なるので、能登半島地震の事例や支援制度など検証し、建設業関係団体との関係強化を図ってゆきます。

飲料水確保について

質問 飲料水確保につき自主防災組織を中心に発災時に利用予定の井戸・貯水槽等の水質検査を行い「町の指導のもと利用方法を検討する」と記してあるが、指定水源の水質検査等定期的に町が実施する事が必要と考えます。

町長 防災計画で定める飲料水確保には給水車や給水用タンク等で対応して参ります。

副町長 計画に基づいて水質検査を実施し、利用可能な水源確保に努めます。

災害廃棄物集積所の確保

質問 能登半島地震で被災した穴水町は人口7,574人、3,635世帯で本町と同規模の自治体であり災害廃棄物の量は96年分と推計されている。本町における災害廃棄物集積所・最終処分場の確保と現状をお聞きします。

町長 災害廃棄物処理計画による一時仮置場として、公共用地のみで11ヶ所3万平方メートルを選定したが、廃棄物発生量推計39万トンに対応する14万5千平方メートルを確保すべき努力して参ります。

住宅耐震化の現状と今後の対応について

質問 能登半島地震の犠牲者の多くは旧建築基準法の下建設された家屋の倒壊による。耐震化に対して「高齢化・後継者が無い・資金が無い」を理由に進まなかった。本町も同様と考え工事費軽減のため、常時生活をしている居間や寝室など部分的な耐震補強工事が可能かお聞きします。

副町長 構造的に可能か、耐震補強工事として該当するか県の担当部局と協議します。

地域整備課長 工事費軽減のため防災シェルター・防災ベットなど代替措置による人命救助を研究します。

少子高齢化と観光立町の働き手の確保は

質問 新型コロナも終息に向かっており観光産業も活気が戻りつつあるが、働き手不足が生じている現状への町長の考えをお聞きします。

町長 厚生労働省の「生涯現役地域づくり環境整備事業」に採択され、高齢者就労の環境づくりに取り組んでおります。

地域創生室長 高齢者の活用と働き易い職場づくりと人材確保に取り組んで参ります。



渡邊 哲 議員

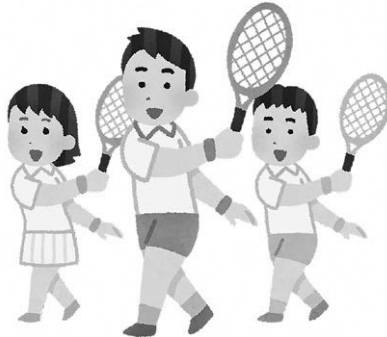
町営テニスコートについて

質問 町長、教育長は、町営テニスコートについて、現在どのような感想をお持ちですか。

町長 町内に拠点を持っていた学校法人が撤退ということで購入し、整備をしたものです。主に中学生が活用していますが小学生や社会人も活用しています。その結果、近年の両中学校の生徒が、中体連で上位に入るといった成績を残すようになりました。青少年育成、町民の健康増進に成果がでてきているように感じます。

教育長 町長の答弁にもありましたが非常に利用率が高いです。中学生という話がありましたが、なぜ強くなったかといいますと、あのコートはオムニコートといって全天候型のコートです。県大会ではこのオムニコートを使用しています。中学生レベルではオムニコートを使用し練習する機会が足りなくて、当町の生徒はオムニコートに慣れてきたのも、県大会でよい成績を

残すのもこの施設が貢献しているものと思われています。それにも増して利用率がとても高い、最終稟議が私のところに回ってきますが、毎回たいへんな数です。



質問 核心に入ります。テニスコートに夜間照明とネット予約はできませんか。

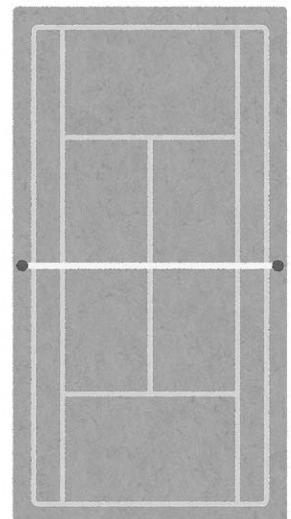
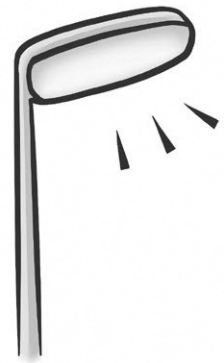
町長 夜間照明については、利用者様からの要望があることは聞いています。が、設備費が高額であることから現在のところ考えておりません。オンライン予約については、各種申請や手続きをLINEで実現する、オンライン行政窓口プラットフォームの導入をめざし、デジタル田園都市国家構想交付金を申請しており、採択に到った段階で予算化を考えています。

質問 事務局長にうかがいます。夜間照明は当分駄目、ネット予約はもう少しまってほしいということですね。

教育委員会事務局長 残念ながら夜間照明については、現段階では考えておりません。ネット予約については交付金申請をしておりますので6年度末までにはできると思います。

質問 私もテニスコートに行ってみました。6面ともいっぱいでした。親御さんも当然おられます。テニスコートがコミュニケーションの場にもなっている、そう感じました。町長の施政訪問にもありました「子は宝」夜間照明ができれば、より多くの利用者が集うことができるはず。早急な夜間照明の実現を期待します。

町長 私も設置したい気持ちは大変強くもっております。町の財政を考えると一般財源としては厳しいがこの施設の町民の皆様にあたる貢献度はとても重要だと考えます。今後の課題として、できるかぎり設置に向けて努力して期待に答えたいと考えます。





比野下文雄 議員

能登半島地震での教訓とわが町の今後の課題

質問1 家屋の耐震化対策と進捗状況は。

今回最大震度7の発生により、古い木材家屋が倒壊し、圧死により多くの方々亡くなりました。当町は住宅耐震化補助事業を啓発し推進していますが、直近の件数・達成率は。

町長 耐震診断を受けた件数は300棟、補強工事を実施した件数は6棟で、耐震化比率は令和元年度末62.6%です。



質問2 インフラ整備に於いて水道事業の現場は。

被災地は道路の隆起等により復旧に長期化を要し断水で多くの町民に悲惨な影響を与えています。当町に於いても厳しい財政状況にあり、特に

人口減少は需要に大きく影響し、老朽管の更新の遅れに繋がっていると思いますが水道管の法定耐用年数は40年とされ、耐震管への整備の進捗状況は。又、石井浄水場は非常に古いと推定され、その耐震性が気になるが十分対応可能なか。町民の大切な命の水がめです。喫緊に整備計画は必要と思われるが、町長の考えは。

町長 上水道の導水管・送水管・配水管については、耐震適合性が無い管は63.1%です。石井浄水場の耐震性については、平成27年度に実施した診断では既に経過しており、現場財政状況は厳しいが心臓部であり、第6次拡張工事に於ける施設整備にて規模を縮小し、より良い設備に更新をしなければと考えています。

質問3 災害廃棄物の仮置場候補地について。

予想される南海トラフ巨大地震による津波被害は大量の堆積物や倒壊した建物の瓦礫等は想像以上と思われるがその考えは。又、津波による堆積物等は物揚場となる6漁港が対象となると聞きましたが、津波による影響は。

町長 処理計画で必要面積に対し11万5千㎡不足している。町内に於ける町有地・公有地は区別なく現地調査等実施中だが、接道のある民有地は埋め立てなどの利用計画から交渉は難しく、公有地に至っては災害時に於ける仮設住宅等、別の利用計画が優先され

るなど選定は難航している。今後も適正なる候補地を模索しながら選定に努める。

生活環境課長 災害がどのように起きたかにより、ケース・バイ・ケースの候補地の選定となります。



質問4 避難所での感染対策について。

避難されている被災者は寒さの中、共同生活でストレスや断水等で衛生環境は悪化になる中、インフルエンザ等の感染症の増加を最小限に防ぐにはどのような対策を進めて行くのか伺います。

町長 感染予防については備蓄している衛生用品の活用その他、手洗い、換気の実行、国・県から発出されるガイドラインを参考に医療機関、高齢者施設等々協定した宿泊施設等への移動調整も行う。緊急措置としてDMATなどの医療関係者による支援の他、長期的には他の自治体からの応援職員による支援活動も展開してまいります。



未来を担う子ども達

南伊豆分校「植物工場」での学び



令和3年度、南伊豆分校に生食用葉物の水耕栽培装置（植物工場）が導入されました。3年生「課題研究」の授業を中心に、全校生徒が植物工場の実習に関わっています。

サラダハウレンソウやサラダミックス、ルッコラなどを地域の農林水産物直売所や飲食店、ホテルへ向けて販売しています。種まきから収穫までの期間は約1ヵ月。年間を通して同じように生産できることが植物工場の特徴です。

令和5年度、3年生の課題研究ではメンバー4名が活動を行いました。稼働2年目ということで、実際の運用で見えてきた植物工場のリスクに関する研究をテーマとして取り組みました。具体的な主なリスクとして、病気が一面に拡大しやすいこと、生産コストが大きく栽培の失敗が大損失につながることで、業務用出荷の月ごとの受注量の差が大きいこと、施設設備の減価償却費や消耗品費が大きいといった経費関係、高濃度の液肥の取り扱いが危険なこと、天災などによる故障や停電・断水による施設の稼働停止があげられました。

こうしたリスクを見ていくと、みな相関関係にあり、ひとつのリスクが複数の問題につながっていること、何かひとつの問題の裏側には複数のリスクが関係している場合があることが見えてきました。これらの中から、改善・実践できることを探し出し、実行していくことが今後、行うべきことです。そこで今、私たちにできる3つの取り組みを考えました。

1つ目は地域イベントへの参加です。地域の人のやり取りは、大きなやりがいや喜びを直接感じられる貴重な場であり、社会とのつながりは経営面における思いがけないチャンスももたらしてくれます。今年度から分校で始まった『社会人の農業実践講座』。参加者は地域の産業を牽引する立場の方々です。今後、全体的なアドバイザーとして、分校のスマート農業推進に大きな影響をもたらしてくれることを期待しています。

2つ目はライブカメラの設置です。植物工場内の様子がYouTubeを介して24時間確認できるようになりました。今後、発展的な交流活動や遠隔学習への活用など、スマート農業ならではの未来が詰まったツールとして活用していく予定です。

3つ目は植物工場をモデルとしたPDCAサイクルの実践です。先述のリスクを改善することや、今後、可能性があるリスクの予想や対応などを常に考え、行動し、振り返るという一連の活動は、社会人になるために必要な基礎力を身に付ける重要な機会です。これらを植物工場の経営改善という側面だけではなく、私たちの学習活動を深め、充実・発展させる糧とします。

改めて、南伊豆分校のスマート農業は「地域とつながるきっかけ・自分たちを磨くきっかけ」として大きな可能性を秘めています。今後も日々の活動を積み上げ、植物工場を取り巻く複数の要素を相互につなげ発展させていくことが私たちの使命だと考えています。今後とも地域のみなさまのご協力をお願いいたします。

南伊豆分校担当 肥田 恒次 内野未早妃

議会一口メモ

議員の心構え

議会は、住民を代表して重要な事件を審議し、決定し、行政を批判、監視する機関である。したがって、理由があれば批判、攻撃も、また、問題についての追及もいかに鋭くてもよい。しかし、批判、攻撃そのものが目的ではなく、あくまでも行政を合理的、効率的に行わせることが目的である。議員が指摘した事項がその方向で改善され、実行されなければ何にもならない。

議員多数に指示され、執行部に共鳴させ実行させなければ、その価値がない。したがって、批判や攻撃は、必ずこれに代わるべき代案をもっていなければならない。執行機関の案が悪いのであれば、それに対する実現性のある具体案を持たなければならない。何が正しいかを明確に示すとともに、自らも他人の厳しい批判にたえ得る覚悟をもたなければならない。要は、厳しさの中に温かみのある言葉で批判し、説得力のある実現可能な具体的代案をもって臨む心構えが必要である。

「議員必携」より抜粋（安藤）



私はゴルフ愛好家です。20代でゴルフを始め伊豆下田CCのメンバーになり、休日はゴルフ好きの仲間と和気あいあいと楽しんでいます。

当時私が初めて会員になる時はメンバーさんの紹介が必要で、20代の若僧にとってとても敷居が高く諸先輩方に叱られないように気配りをしながらプレーしたものです。また当時は男子プロテストの予選会場として選ばれ、難コースとして名を馳せていました。そして風光明媚な伊豆最南端のコースとして多くのゴルファーから親しまれていました。そんな名門コースも時代の流れに逆らえず、50年の歴史に幕を閉じようとしています。何とか知恵を絞り存続する道標を見つけて欲しいと願っているゴルフ町民は私一人では無いと思います。

頑張れ伊豆下田CC。（岩田）